

PRESS RELEASE



やまがたの上質ないいもの。
その魅力をもっと伝えたい。
この新しいブランドマークを旗印に、
山形のいいものの魅力を伝えていきます。

令和6年4月23日

県政記者クラブ報道機関 各位

山形県産業労働部産業創造振興課

Yamagata yori-i project

(山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業)

「令和6年度プロジェクトキックオフ」を開催します

令和4年度から最上地域をモデルエリアに実施している「ソーシャルイノベーション創出モデル事業」通称：Yamagata yori-i project は、プロジェクト3年目を迎えました。

令和6年度のスタートにあたり、キックオフを下記により実施しますので、取材・報道についてよろしくお願いたします。

記

日時 令和6年4月26日(金) 10:30~12:00

場所 スタートアップステーション・ジョージ山形(山形市城南町1丁目1-1)

- 内容
- ① Yamagata yori-i project 概要説明・令和5年度までの実績報告
 - ② 令和6年度プロジェクトの方向性
 - ③ データブックの公表
 - ④ 各コーディネーターの自己紹介・令和6年度の抱負発表

出席者 山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター センター長 小野寺 忠司
公益財団法人 やまがた産業支援機構 常務理事 我妻 悟
株式会社 next is east Chief Operating Officer 小口 貴幸
yori-i project コーディネーター

■ Yamagata yori-i project について

yori-i project は、産学官や産業などのセクターを超えた力を結集しデータを基に取り組む課題解決手法「コレクティブ・インパクト」を軸に、多様化する地域課題の解決やそれに伴う新規創業・事業創出を活性化し、そのノウハウを他地域に転写していくことを目指すプロジェクトです。

活動に共感頂いた行政・企業・個人がボードメンバーとしてプロジェクトに参加しており、その数は現在、150社（個人含む）に及んでいます。

プロジェクトとして本格的に課題解決に取り組んでいくための活動指針となる「人」「産業」「健康」「地域資源の保全」「環境保全」の5つの“アジェンダ”を設定し、そこから社会課題解決型ビジネスの創出を目指しています。

<参考 URL><https://yori-i.org/>

■ yori-i project のコーディネーターについて

20代から30代の若手起業家がプロジェクトコーディネーターとしてヒアリングやデータ分析、アジェンダ分科会の運営などを担い、プロジェクトを進めています。

コーディネーター		吉野 優美 (30代)	「地域資源の保全」 アジェンダ担当
コーディネーター		末永 玲於 (20代)	「人」アジェンダ担当
コーディネーター		新関 耀 (20代)	「環境保全」アジェンダ担当
コーディネーター		阿部 公一 (20代)	「産業」アジェンダ担当
コーディネーター		須藤 清貴 (20代)	「健康」アジェンダ担当
コーディネーター		會田 悠城 (20代)	情報発信担当

担 当：産業労働部 産業創造振興課
スタートアップ推進室
室長補佐 渡邊 (023-630-2364)
報道監：産業労働部次長 奥山